



Twitter 開設中！

@jtsue_yamanashi

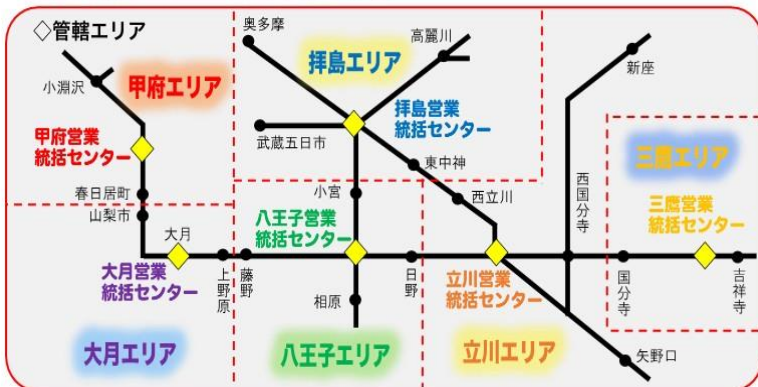
2021.11.1 No.18

営業統括センターの提案を受けました



現業機関における柔軟な働き方の実現に向けた 営業統括センターの設置について 提案を受ける！

- ◇6つの営業統括センターを新設し、各エリアを担当する
三鷹営業統括センター・立川営業統括センター・八王子営業統括センター
拝島営業統括センター・大月営業統括センター・甲府営業統括センター
- ◇立川地区・八王子地区・甲府地区の廃止とともに地区センターを解消し、業務は各営業統括センターに統合する
- ◇実施時期は2022年ダイヤ改正（予定）



組合) 施策の目的や6つのエリアにした理由は？
 会社) 変革2027の実現に向け、コロナ禍もあり取り巻く経営環境が悪化する中スピードを持って迅速に対応していくためには仕事の仕組みを見直さなければならぬ。そのために社員の旺盛な挑戦意欲に応え、多様な活躍フィールドが必要になる。これまでの役割にこだわらない、フレキシブルな組織・働き方の実現していくためには「駅」という単位を拡大していくことによって、柔軟な働き方が生きてくる。6つのエリアにした理由は、業務実態や職場の規模、地域の特情などを総合的に勘案して決定した。

運用などの詳細については「検討中」という回答が相次ぐ！

不安やわからない事、ここが知りたい！などがあれば
輸送サービス労組へ声を寄せて下さい！

10月26日、八王子支社から営業統括センター設置の提案を受けました。実施となると、様々な問題が出てきますが、このうち以下の問題が出てくることを考えています。

「寒冷地手当」はどうなる？

山梨支部管内で例えると、山梨支部管内の駅では「寒冷地手当」が付きますが、勤務箇所によって「寒冷地手当」の級地が変わってきます。

今までは甲府駅や小淵沢駅などその職場での勤務が基本となっており、その職場がある市町村に基づいて「寒冷地手当」の級地が決まります。

営業統括センターが実施されると、複数の駅職場を管轄することになります。駅によって寒冷地手当の級地が変わることがあります。

では、どんなことが起こってくるのか次のNo.19号で見てください。



営業統括センター施策実施後に起きる問題点を

みんなで考えていこう！

